

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年6月6日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田 光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田光明 松橋尚文 河合初恵 松原慶子
出張先	① 江別市 ② 札幌市
期間	令和5年5月23日 ～ 令和5年5月24日 (2日間)
用務	① 江別市 野幌駅鉄道高架事業 ② 札幌市 (株) アーキビジョン21 災害時のムービングハウスの活用について
調査(研修)結果等の概要	別紙にて報告 政務活動等報告書
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

①江別市 江別の顔づくり事業（野幌駅鉄道高架事業）について

同事業は平成7年度に新総合計画に位置付け具体的な検討が始まった。
その後平成18年に事業許可、着工し約7年で完成。
以前の江別市は鉄道によって南北が分断。
交通渋滞や事故発生がもんだいとなっていた。

【8丁目通り踏切】

- ①遮断時間 1日6.4時間
- ②自動車 1日平均8244台
- ③自転車・歩行者 1日平均4663人

【6丁目通り踏切】

- ①同 6.2時間
- ②同 7458台
- ③同 1612人

連続立体交差事業費は総額144億円

負担内訳は、国69億円、道55億円、市15億円、JR5億円。

市の財源対策は市債が11億4千万円、一般財源3億円、残りは基金を充当した。

償還期間や単年度負担額等は後日改めて資料提供を受ける。

詳細は財政部局に確認した上でお示ししたいとのことであった。

また、合わせて鉄道高架事業と平行して実施された土地区画整理事業、街路事業他についても市の負担額及び財源対策の詳細を送付していただくこととなった。



添付資料 活動及び調整内容要旨及び写真

②(株)アーキビジョン21 ムービングハウスについて

札幌市手稲区にある(株)アーキビジョン21のムービングハウス展示場を訪問し、災害時におけるムービングハウスの活用状況についてお話を伺いました。

これまでの実績では平成30年7月倉敷市豪雨(41戸)、平成30年北海道胆振東部地震(19戸、26ユニット)、令和元年東日本台風常陸大宮市(9戸)、令和2年7月豪雨球磨村(70戸)、令和3年新型コロナ対応支援千葉県(50床)令和4年8月豪雨村上市(37戸)令和4年12月新型コロナ対応支援つくば市(210床)となっており、自然災害後の仮設住宅以外でも新型コロナ対応の療養施設などにも導入した事例がありました。

レンタルやリースの対応が可能で、最短で令和元年東日本台風では要請から8日後に引き渡しが行われたようで、いち早く仮設住宅としてお届けできるメリットがある。木造のコンテナハウスで、高断熱高気密のため、エネルギーの消費も少なく、木材が湿度の調整も行うため快適な仮設住宅での生活ができるが、家財一式を持ち込むと狭くなる可能性がある。トレーラーでの移動が可能のため、1棟当たりの大きさは12m×2.4m、6m×2.4mとなっているが、連棟式でつなげて使うこともできることから、事務所や施設などでの需要も高まってきたとのことでありました。また、自治体ムービングハウス協会が協定締結を進めており、北海道をはじめ、道内では厚真町、むかわ町、芦別市、砂川市など30の市町村が協定を結んでいます。

トイレやシャワーなども完備されており、災害時は近くに上下水道があれば引き込み可能である。日本ムービングハウス協会と協定を締結している自治体も増えてきていることから、釧路市としても災害時の活用について情報を収集していくべきと考えます。

